

1. はじめに

今年も残すところ1ヶ月となりました。私の留学生活も折り返し地点に差し掛かっており、月日の経過が本当に早く感じられます。11月に入った途端、こちらはすっかり冬景色となりました。すでに最高気温がマイナスを記録する日もあります。すでに初雪も降り、厳しい冬がやってきました。11月で秋学期が終了し、12月からは冬学期が始まります。また気持ちを新たに勉強に取り組むとともに、様々な活動に参加していきます。図1にキャンパス内の積雪の様子を示します。

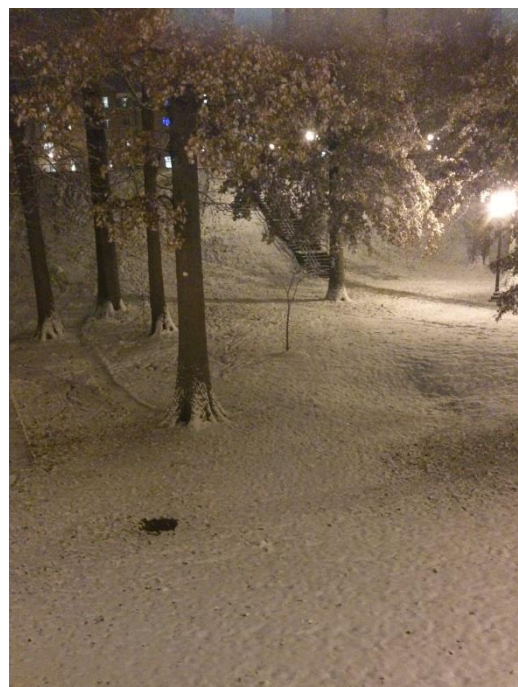


図1 キャンパス内の様子

2. RHIT での生活

10月に入ると、キャンパスのいたるところにカボチャが飾られるようになりました。アメリカでの大きな行事のひとつである、Halloweenがあるためです。Halloweenが近づくにつれ、近隣の住宅も飾り付けが行われていました。RHITでもHalloweenの到来にあわせてPumpkin carving contestが開催され、私も友人たちと参加しました。最初は幼少時からかぼちゃを彫るという作業を経験している、ほかの学生に初心者である私たちが太刀打ち出来るのか非常に不安でした。私たちはジブリアニメのキャラクターをデザインしたJack O' Lanternを作成しました。審査員の方々から高評価を得ることができ、コンテストで1位を獲得することができました。図2に作業の様子を示し、図3右端に私たちの作成したJack O' Lanternを示します。



図2 かぼちゃ彫り



図3 完成したJack O' Lantern



図4 近隣住宅のデコレーション

10 月 31 日の Halloween の夜には知り合いの教授宅に招待していただき、友人たちと Trick or Treating に出かけました。仮装をして近所を練り歩きながらたくさんのお菓子をもらい、アメリカならではの行事を堪能することができました。Trick or Treating は小さな子供たちが参加するイベントであり、大学生の私たちには滅多に体験できないことをさせていただきました。図 4 に訪れた住宅のデコレーションを示し、図 5 に仮装をして Trick or Treating を行った様子を示します。



図 5 Trick or Treating

3. 科目の履修

ようやく先生方の話す英語に慣れてきたところですが、早くも秋学期の科目が終了しました。KIT と比較して授業時間が短く、時間割のサイクルの早いため、時間の経過を非常に早く感じます。学期終了に伴い、11 月の第 3 週にすべての科目の期末試験が行われました。アメリカでは学期末の試験に非常に力を入れて取り組みます。試験範囲が広く、試験時間が 3 時間を越える科目もあります。以下に科目ごとの詳細を示します。

Cell structure and Function

この科目では講義と平行して、実験・演習にも参加しましたのでその様子を報告します。KIT では 2 年次から実験を行います。RHIT では 1 年次から行います。講義で学習した内容をすぐに実験を通して復習することができるので非常に身につけやすいです。実験の成功・失敗をあまり気にせず、学生たち自身の自由な発想で取り組みます。教授にも気軽に質問することができるので全員が積極的に学習できる環境だと感じています。図 6 は実験室の様子を示し、図 7 は学生たち自身の毛髪から DNA を抽出し、電気泳動実験を行った様子を示します。

講義中も活発に質問が飛び交っています。試験前には全員で試験範囲を復習する review session が設けられており、私も他の学生とともに試験勉強に取り組みました。試験を受けるごとに少しずつではありますが、点数として成長が見られたため、教授が“Keep it up”というシールを貼ってくださり、非常にうれしく感じました。初めて専門科目を英語で学習し、理解できる範囲もある反面、まだまだ力が及ばない点も多くあることを学ぶことができました。後学期はさらに難易度の高い科目も履修する予定で



図 6 実験室の様子

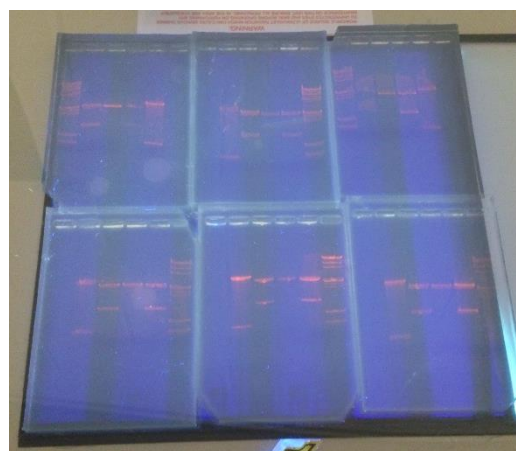


図 7 電気泳動の結果

すので、前学期の経験を生かして取り組みます。

College English

今月はグループプロジェクトの取り組みが中心でした。私たちのグループは **Glue remover** を考案し、市場調査のためのアンケートを作成したり、**PR** するための動画を作成するという活動をしました。最終週にはグループごとにプレゼンテーションを用いて発表しました。忙しいスケジュールの合間を縫ってミーティングを行うのは大変でしたが、実践的な学習ができました。試験はいずれも非常にレベルが高く、なかなか高得点を取ることはできませんでしたが、たくさんの演習や宿題を通して英語力を向上させることができたのではないかと思います。特に **Listening** や **Writing** の能力を伸ばすことができました。

Japanese Culture and Language I

先月に引き続き、私は授業の補佐をしました。期末試験では筆記試験だけでなく、リスニングと口頭インタビューの試験もありました。授業に参加させていただく中で、学生たちが短期間で本当に実践的な日本語を身につけられていることを実感できました。そして、日本に興味を持つ学生たちと交友を深めることができ、うれしく思います。

また、テスト終了時の息抜きとして私が所属する研究室や研究内容の紹介と日本のアニメについての2つのプレゼンテーションを授業中にさせていただきました。どちらの内容も、非常に興味を持って聞いていただけたと感じました。今後、大学院に進学した際にも様々な場面で自分の研究分野を説明しなければならない機会があると思います。自分の専門分野の話を、まったく知識を持ち合わせていない人々に説明することは非常によい訓練になりました。また、限られた時間の中で厳選した情報を、わかりやすい言葉に置き換えるということも身につけられました。高学期も日本語のクラスを履修する学生たちと積極的に関わっていきたいと考えています。

4. おわりに

交換留学の期間は残り半分となりました。今学期の科目履修は、慣れない専門用語に悪戦苦闘しながらではありましたが、自分なりの成長を感じることができました。本場の **Halloween** を体験することもできましたし、楽しみながら秋学期を過ごせました。冬学期も引き続き、英語力の向上を図りつつ、専門領域の講義と実験・演習の科目を履修する予定ですので、私のペースで努力していきたいと思います。現在は **Thanksgiving** 休暇のため、友人の家に滞在しています。アメリカ特有の行事を楽しむとともに、文化を学んでいます。詳細は来月の報告書にて報告させていただきます。